

白い。霧を吐く。息が青い。龍を吐く。天に昇って行く。上昇すること数千メートル。ぴっぴっ。らあああ。声を出す。わたしたちの声、壊れているみたい。ぎっぎつと声がでる。ぴっぴっ。思ってもない音がでる。音波は壊れて届く。迷い星。幾つもの小波にのって、星のかけらがわたしの耳に刺さる。痛いみたい。龍が噛みついて痛いみたい。そういう夜がある。樹樹をくぐる。そして歩く。午後十時、帰宅。